

事業所名

児童発達支援事業所ponopono

支援プログラム

作成日

2024年

4月

1日

法人（事業所）理念		その子らしさが美しく輝き、強みを最大限に発揮できるようサポートします。ご家族の喜びや困難を共に分かち合い寄り添っていきます。				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○未就学児を対象とした児童発達支援事業所です。対象年齢は1歳～5歳児です。 ○応用行動分析（ABA）を軸にし、お子さまの興味関心や特性に合わせた療育を提供します。 ○専門性の高い療育を提供し、得意なところは伸ばし、苦手なところは工夫やサポートを一緒に考えます。 ○感覚統合療法を取り入れ、お子さまの成長発達の土台作りを大切にしています。 ○保護者様の不安や悩みが少しでも軽減できるよう、寄り添いながら子育ての悩みや療育についてのご相談にのっていきます。 				
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○お子さまの心身発達を支援し、発達段階やライフステージに合わせたスキルを獲得できるよう支援する ・お子さまの健康状態の観察及び維持・改善指支援（身体発達・食事・排泄・感染症対策等） ・生活リズムや習慣形成の支援 ・生活スキル獲得支援（トイレトレーニング・食事・衣類や靴の着脱・清潔保持・片付け等） ・入園・入学準備（リュックを背負う・帽子をかぶる・上履きを履く等） 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かし楽しく遊ぶことで、子どもの発達に必要な土台を育む ・感覚統合療法による土台作り（作業療法士による評価を含む） ・ダンスや体操による全身運動・模倣運動・リズム感覚の発達促進 ・触れ合い遊びによる愛着形成・信頼関係・ボディイメージの獲得と皮膚感覚の発達促進 ・えんぴつやはさみ等の道具を使用する机上課題やおもちゃを利用した微細運動の発達促進 ・粗大運動・微細運動・姿勢保持等の補助的手段の活用支援 ・サーキットや様々な遊具での遊び・体を動かすゲームによるバランス感覚や基本的な筋力維持・促進 ・感覚過敏への個別対応支援 (個室の提供・最小限の視覚刺激・聴覚刺激へのイヤーマフレンタル) ・常同行動への対応支援 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○療育活動全体を通して、認知機能やルール、適切な行動の理解を促す ・名称カードや様々な遊びを通して、物の名前とその特徴、関連した物事の習得 ・ごっこ遊びや運動遊びを通して、数・時間・感覚・空間・注意の習得 ・ゲーム、クイズ、ドリルを利用して、記憶・言語理解・注意・知覚・推論・判断（想像する力）などの習得 ・SSTによるルールの理解と場面に合った適切な行動の理解 ・感情カードや他者との交流による自分の感情の理解と相手の表情や感情の理解の習得 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○療育活動全体を通して、言葉の理解やコミュニケーション能力を促す ・遊びを通して、コミュニケーションを取るための土台を育む (声を出す・相手を意識する・聞く力の育み・真似る力の育み・伝えたい気持ちの育み) ・名称カードや絵本、その他遊びを通して、語彙を習得 ・表情・ジェスチャー・動き・絵（文字）カードなどによるノンバーバルコミュニケーションの理解とスキルの習得 ・遊びながら、自分の伝えたいことを言葉にする、質問を理解し答える、質問をするなどの会話に必要なスキルを習得する ・ドリル・ゲーム・その他遊びを通して、読み書きスキルの習得 ・ディスレクシアの相談支援（補助的手段の活用含む） 				

	人間関係 社会性	<p>○主に大人との関わりや子どもの小集団を通して、人間関係構築に必要なスキルと社会性を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフと楽しく遊ぶことで、家族以外の大人との間で、安心感、信頼感、愛着などを形成する体験を積む ・遊びを通して自分の存在や自分のいる場所、自分の感情、相手の存在（個と周囲の集団）、認知を育む ・相手に伝えたい、関わりたい気持ちを育む ・基本的な挨拶スキルの習得 ・援助希求行動スキルの習得 ・遊びやゲーム、課題などを通して、非認知能力（意欲、自信、忍耐、自立、自制、協調、共感などの心）を育む ・一人で過ごすのが好きなタイプかそうでないかの特性の見極めと理解 ・一人で楽しく安全に過ごすためのスキルと環境整備の方法の習得 		
	家族支援	<p>○ご家族の療育参加や日々のフィードバック、定期面接、相談時面接により、家族支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント形成(愛着行動)等の支援 ・家庭の子育て環境の整備 ・子育て上の課題の聞きとりと必要な助言 ・療育内容やお子さまの評価や課題をフィードバックし、支援内容を共有する ・必要時、新たな支援機関の紹介と橋渡し ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ・関係者、関係機関の連携による支援体制の構築 ・家族支援プログラム(個別の面談等)の実施 	移行支援	<p>○お子さまの発達状況や特性に合わせた所属先へ円滑に移行できるよう支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域情報の収集（保育園・幼稚園・センター格空き状況や対応情報・就学説明会参加など） ・ご家族の意向やお子さまの発達評価や特性を踏まえ、移行先選定についての家族支援（評価提供、情報提供など） ・ライフサポートファイルやスマイルプラン作成 ・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達 ・子どもの情報、保護者の意向等についての移行先への伝達 ・併行通園の場合は、利用日数や時間等の調整 ・合理的配慮を含めた移行先の環境の評価と調整支援 ・移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ・相談支援事業所への協力
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所との連携 ・市役所や発達相談センターとの連携 ・併用事業所や近隣事業所との連携 ・その他、療育に関わる公的機関や医療機関との連携 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修 ・協力医療機関医師による研修 ・市主催研修 ・民間研修 ・毎日のスタッフミーティングによるレッスン内容の評価と提供状況の確認、アセスメント ・育成担当者（児発管・公認心理士）による定期的なスタッフ面接
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの工作 ・夏祭り 		